

是等のものは、古體を選ぶものも收録せんとし、近體を選ぶものも亦之を收録せんとするため、幾字かを改修して自自分の方に引付けて之を用いんとするものである。例へば唐の沈佺期に詩に

獨不見 盧家少婦鬱金香。海燕雙飛珠玑梁。九月寒砧催木葉。十年征戍憶遼陽。白狼河北音書斷。丹鳳城南秋夜長。誰知含愁獨不見。使妾明月照流黃。にせぬが、竹垞が改修を加へたること尤も甚しい。其原作

即ち郭氏は此詩を以て樂府としたのである。而かも高棅(高廷禮)の唐詩品彙には、題を古意と改め、鬱金香を鬱金堂と改め、誰知を誰爲と改め、使妾を更教と改め、是れ七言律詩の部に入るとため、平仄を合したるものなりとて、竹垞といふ人は「古意原是樂府故平仄不叶品彙派爲律詩故改却許多字」と云つて居る。然れども、御選全唐詩には題を古意呈補闕圖知と改め、誰知を誰謂と改め、又別本に、白狼河北音書斷を白駒河北軍書斷と改めたるものもある。只此一首にても、是の如く紛紛異同あり、其他之に類するものは甚多い。然れども大半は傳寫の訛に係るやうである。而して故意に改修せんが爲めである。其例は甚多いが、長くなるから省く。

僕嘗て清の朱竹垞が編選せる明詩の自筆底稿の一部分を獲た。其中に余騰の詩一首(明詩綜卷六十九にあり) 嶺上題壁 南眺鄉關事非一。兩文說受重園。孤蹤豈似衡陽雁。無奈峰頭暫北飛。と云ふのである。底稿に據れば、其原作は、豈似似却似なり、暫北飛は

也北飛なりしを、竹垞が筆を加へて現行本の如く改修してある、却を豈に改め、也を暫に改むれば、意味は反して原作者の本意と異なることにいふとすのである。例へば唐の沈佺期に詩に

獨不見 盧家少婦鬱金香。海燕雙飛珠玑梁。九月寒砧催木葉。十年征戍憶遼陽。白狼河北音書斷。丹鳳城南秋夜長。誰知含愁獨不見。使妾明月照流黃。にせぬが、竹垞が改修を加へたること尤も甚しい。其原作

即ち郭氏は此詩を以て樂府としたのである。而かも高棅(高廷禮)の唐詩品彙には、題を古意と改め、鬱金香を鬱金堂と改め、誰知を誰爲と改め、使妾を更教と改め、是れ七言律詩の部に入るとため、平仄を合したるものなりとて、竹垞といふ人は「古意原是樂府故平仄不叶品彙派爲律詩故改却許多字」と云つて居る。然れども、御選全唐詩には題を古意呈補闕圖知と改め、誰知を誰謂と改め、又別本に、白狼河北音書斷を白駒河北軍書斷と改めたるものもある。只此一首にても、是の如く紛紛異同あり、其他之に類するものは甚多い。然れども大半は傳寫の訛に係るやうである。而して故意に改修せんが爲めである。其例は甚多いが、長くなるから省く。

然れば還本は容易に信用の出來ぬものであると謂はねばならぬ。故に學者は成るべく本集に就て精研すべきである。僕が竹垞の明詩綜底稿を得たのは、數紙と雖も、還本に選者の改修を加へたるものあると思ふ故に此に摘出して斯學に志す人の參考に供することにした。(終)

支那幣制の研究

江崎眞澄

第一章 緒論

支那の現状は趨勢日に日に昇天の概ある袁總統の意の儘とあり、民國の國會はクーデターに依て形式的に消滅し、政治會議は開設せられたるも、其議員は多く袁家藥籠中の人にして各省都督及各大官共に更迭し之に配するに股肱の士を以てするなご、共和の名あつて專制の實を去らず、而も天下は表面泰平にして商界又隆盛の概あるも其裏面に窺へば誠に恐慌として寒心すべきものあり、士匪と聯絡を保ち各地に蜂起するあり、今又中央地方にありて職を奪はれたる不平の青年文武官少からず、而も其抑壓の反動は直ちに勃興するに四百餘州に横溢するも、財政の窮迫せるは既に山窮し、水盡きの概あるのみならず、幣制の紊亂、紙幣濫發の結果將に隆盛ならんとする通商貿易を阻害するに到りしは、實上支那と最も深く利害を有する本邦の如き最早座視するに忍びざるものあり、故に支那政府を以て困難せる財政を整理し、以て自活の道を講せしむるの前提となし、其根本たる幣制の統一を圖り、現在弊害に苦める紙幣整理の斷行を迫るは、日清

通條約によつて誓約せしめたる關係上本邦の權利に屬し同時に又支那の經濟關係を永遠に持續し益々親善ならざるべからざる運命を有せる本邦に取ては、又實に義務とする所なり。

抑も支那幣制改革の必要は、屢々唱道せられ、既に光緒二十八年八月四日(October 4, 1902)により支那政府が英國政府に其改革統一を誓約したるより茲に十有二年、其間銀兩本位制度、圓銀本位制度、金兌本位制度又圓銀本位制度等法合として發布せらるゝなり、或は草案として發表せられたりと雖、未だ其の何れも實施せられずして今日に及べり、由來支那人の得意とする所は、立論の妙を得たるにあり、其實行せらるゝと否と問ふ所にあらず、而して今又熊内閣に於ては、新に國幣法を發布し、(去二月八日)前清時代の計畫に係る七錢二分圓銀本位制度を復活實施せんとす。之が現時の幣制の狀況に鑑み、實際的施設の方法として、適當の制度なりと稱せざるを得ず。

故に茲に先づ、本位制度論として從來現はれたる法令、草案及改革意見を紹介し、之に對し批評を試み、而して後新國幣法に關し、紙幣濫發の現狀を述べ、之に對する支那當局の意見を紹介し、更に進んで之を批判し、最後に中央銀行制度組織を研究せんとす。蓋し幣制改革の事業たるや兌換機關の確立と共に、之が實施の職分を有する金融機關の完備するに非ざれば、實際何等の効果ならざればなり。

第二章 支那幣制の本位如何

第一節 銀兩本位制度 銀兩本位制度は、前清時代に於て

張之洞、袁世凱及那桐等の主張にかゝり、大銀貨の重量を、庫平一兩と定め、並に庫平五錢の銀貨を鑄造し共に本位貨として通用せしめんとするにあり。

其要旨は、支那の租税及び賦課金は皆兩錢分厘を以て計算するのみならず、賠款も關税も又庫平の重量を以て計算し、外國商船も亦兩兩を用ゆるが故に、銀兩銀貨は内外兩國の慣習に従ひて流通し易けり南を以て元に改むるは其換算に困難なりと云ふに、遂に政府の採用する所となり、光緒三十四年九月六日幣制統一の上諭出で、茲に新式法定貨幣法の基礎始めて確定するに到り。

該制度は大體に於て清國當時の狀況に鑑み、誠に機宜に適したるものとして、中外の歡迎を受け度支部は其實施準備に着手したりと雖も、其の任にある度支部大臣は、由來銀兩本位論者なりが故に、其實施法規の如き、頗る不備の點多し、論難攻撃相次て起りしが偶兩宮の崩御となり、政變次て起り、民心の動搖甚しく、諸般の政務は一時中止の姿となり、既に制定發布せられたる新幣制法は遂に實施の機なくして葬らるに至り。

吾人の考ふる所に依れば、前清時代の如く民間の信用制度は、庫平に銀兩の如き強大なる信用を博し居りたる時代にありては銀兩本位制度を實施すべからざる也。蓋し銀兩の破綻相繼ぎ各地方の信用制度は殆ど全く破壊せられ其の存在すら危まるる今日にありては、兩兩の運命は永遠に非ざるに非ざる也。蓋し兩銀の鑄造は一に銀兩の信用に依ればなり。

然れども如斯新制度實行準備として法令は着々發布せられ、且つ所謂四國借款の七千萬元を割き幣制改革資金に供せんことをし、未だ舊貨の整理着手されず、又新貨の鑄造頒布を見ず且つ紙幣の處分に關し何等制限無き時に當り、盛宣懷の鐵道國有

にすといふ主張。更に支那に於ては、準備金を用ひて兌換に應ずるを古來兩ある名目貨幣を存するが故に國際貸借の均衡を決済するに在方正に名目貨幣として三分の一庫平兩貨金準備の必要あり、之等の準備を以て新單位として、該單位を標準金如何にすべき乎。

印度にては平均四億五千萬圓比の輸出超過あるが故に、該制度は行はれ反之支那に於ては平均一億三千七百萬兩の輸入超過なるが故に、該制度

法のによりて、補助貨六種を鑄造し、最低の一厘は現在適用の制銀を以てせんとするにあり。

然るに、貨幣學上の定論なるも、
 從來の慣習迄も顛覆して其單位を變
 えるの要無し、我が日本の圓は佛

萬弗の巨額に達せり慣習上斯の如
巨額に且つ圓滑に流通したる圓銀
廢止し、新に五錢五分の小銀貨を

一般に行はれ居るとするも前述の如く、銀爐等の閉鎖により兩銀の運命も永續せざるべし且つ統一すべき貨幣として算九七銀二分の圓銀に如く又等しく復本位制度に於ても適應せざるべし、金銀相場變動の危険ざるべきは斷言するに憚らざるなり

純分共約一割分の減少を示し、
銀貨にては重量純分共約三割を減
少せり、而して、國幣の計算は均しく
十進法を採用せり、(前法第二條乃至
四條、國幣及第三條乃至第五條)

の元貨幣間も舊國銀貨に國幣との價格があるものゝ認め通用を許す又銀銅の補助貨及銅錢は一定期内に於て各市價に照らし適用を許すといへども、前法に於ては大小銀國幣通用の權力範圍に關しては

各國の例に倣ひ何れも國幣の何種たるを問はず幾何の款項たるは問はず何人とも雖も授受を拒むを得ずとせり

（前第二十二條施行條例第一條）
國幣兌換に際し割増又は割引をなしし通法を破るは、又は國幣交付を受領せざる場合には、何れも、關係者より告發し、裁判所の審判にて十元以上十元以下の罰金を課す規定にして、尙は新法には、官吏並に官營事業に従事する人にして、前項の禁を犯せば、審議の末五十元以上三千元の罰金を課する旨を附加せり、前法、二十三條施行條例第九條）

紛争の起り易き支那商人の商號

村上貞吉

要之今國發布したる國幣法及國幣法施行條例を前清時代の改定國幣則例に比すれば、鑄造權の歸屬を明に、本位貨幣の純分を定め佛國の數二十「グラム」九七・七五〇と等しく、鑄造料を受取り人民の依頼に應じて自由鑄造を爲し、以て本位貨幣の充實を圖り、又地方補助貨の重量並に純分を著しく減少し、以て改革金の節約を行ひ舊貨処分しては實際に近き市價を以て回收分の日は全國一般に同時に施行するに非ずして寧ろ各關港場及其附近に先實施し然る後漸次内地に施行せんとするの順序は、誠に機宜に適したるものと云ふべし、既に上海中國銀行の如き近時江蘇省にありては新國幣と同價格を有する支那銀貨を基礎とし、兌換券を發行し居るが如き

支那商人は其商取引上自己の氏名を用ひずして別に商號を設け、其號名の下に百般の商取引を爲すこと、尙我國に於けること異なる事なしと雖も、皆な字義上縁起宜き文字を選択するが故に、瑞和、祥興、順隆、昌慶、怡等の文字大に流行し、從て同一若しくは紛はしき迄に相似せる商號盛んに行はれ、一見外國商人に取ては彼是識別に困難を感ずることあり然りと雖も斯の如きは尙且之を忍ぶことを得、唯或る商號と其商號使用者たる支那人の何人なるやを識別することの困難なる點に至りては實に容易ならざるものありとす

引を爲す祥泰和なる號名の下に商取引を爲す支那人ありとせよ、其取引上祥泰和號の主人、即ち商號使用者は何人なりやを知らんとすることは外國商人に取ては容易のことには非ず、其支那人の支那人使用人をして之を探索せしむるも之れは或る程度迄之を知り得べきものなりや否やは斷言すべからざるのみならず、往々其誤謬なることを發見することありとす

蓋し吾邦の如く戸籍の制度備はり、又商號登記の制度ありて何人も登記所に到りて登録簿の閲覧を爲すことを得るの制度ある時は此困難なしと雖も、支那の現情に於ては未だ斯の如き制度の發達せざるが爲めなればなり、普通商取引上の証書類には圖章と稱する方形にて何某圖章と印刻せし印章を用ひ、又略式のものに至りては、何某號書來と印刻せる粗末なる印章を用ひ、別に主人又は經理人の名稱を記載せざるものなりとす

支那銀莊が發行する莊票の如き、各商人の振出す期票、票の如き、普通商號の保証の如き、賣買契約書の如き、皆な是れなり、普通取引上圖章の關係を保持する間は別に差支なしとす、一朝變互の間に紛争を生ずる時は、右の號名のみを記載し、之に圖章又は書來を押捺せる書類を以て唯一の證據とし、訴訟に依りて右の紛争を解決せんとする時は、大困難に遭遇せざるべからざるなり、即ち何商號の下に商業を營める支那人は、果して何人なりや責任の負担者は何れに在りやと一點に在りて、例令は原告たる外國商人は其使用する買辦、又は支那人が詮索し來りたるものを信ぐこと、を以て何某號の責任者とし之を被告として相手取り、訴訟を提起し、於て先づ抗辯して、（一）自己は某號と何等の關係なき旨を主張することあり、（二）或は以前は某號の經營者なりしも、其後之を他人に譲渡し、今や何等の關係なき旨を主張することあり、（三）或は自己は某號の出資者の一名にして、責任負担の割合は僅かに十分の一、責任は五分の一に過ぎざることを抗辯を爲すことあり、（四）或は自己は何某號の經理人、即ち使用人に過ぎず、損失負担の責任者に非らずと抗辯することあり、（五）或は自己は匿名組合員の一にして、營業者たる經理人の營業に資金の融通を爲したるに過ぎずして、第三者たる外部の取引先に對し直接の責任を負ふものに非らずと抗辯することあり、此間商人が所持せる唯一の證據は、前記外圖商人が決定せる號名のみの印刻せる圖章、又は書來章を押捺せる證書は、果して何等の價值ありとなすや、買辦又は使用支那人が右被告を以て責任者なりとせる根據も亦微弱なり、到底被告の抗辯を排斥するに足らざるなり、凡原告は訴訟の冒頭に於て被告たる某號の取引上の責任は、何某なる特定の支那人にありとせよ、又は組合の場合に於ては其組合員の氏名を擧げて是等の者に其の責任ある旨を立證せざるべからざるなり、前記の如く登記の制度なく、殊に一般の風習として商業上責任者たる資本主の氏名を公けにするを好まざる傾向ある支那人に在りては、實に此點の立證を爲すこと甚だ困難なることあり

此困難は各外國人の共に常に感ぜざる所なるが故に、數年前當地獨逸總領事館の會審官の Herr 氏は各國會審官會議に提議して、上海商務總會内に一の商業登記所の設備を爲し、各商號の商業登記を爲し、右登記之れと同時に商務總會を以て右登記を基礎とせる簡單なる Office House を發行せしめ、之に依つて商號並に其使用者たる主人、又組合員等責任者の何人なるやを周知せしむるの方案を立てたることあり、何れ故なりしや、當時英國會審官たりし Mr. 氏の反對する所となり、議案可決に至らず其儘消滅となりたることあるが、右獨逸會審官の提議に係はる方法の可否如何は暫く之を措かざる、其目的や願る實識すべく、一般外國商人の爲めに對支那人貿易上の利益を除去し、其發達を計らんことば、實に遠大なりといふべきは、當路の人並に商界の有志に注意する所あらんことを望む

上海の輸入炭

緒論

題して上海輸入炭と云ふ、本題目の下には固より輸入炭種、運送貨率、取扱商店、需要量、主市場市價、關稅問題、再輸出炭、炭界競争、他種燃料から種々の網目に就て就て就て可からざるも余は石炭業者一員として他取扱店達の迷惑を醸す如き事項に關しては斷じて口を咄まざるべからず、又商機略に係る條項に就ても素より述ぶる事を得ざるは茲には乾燥無味の嫌は到底之を免るを得ざるも四五年来の材料に基き輸入炭の統計の數字に就て略述せんとす

輸入炭の位置

今石炭の上海輸入品中に於ける位置を知る爲め假りに千九百二十二年即大正元年度の統計に就て之を見んとす、同年度の上海輸入總額は二億千餘萬兩以下、單に兩と云ふに依りて石炭輸入額は百千六萬餘兩の數字を示すが故に之を假りに平均五兩と見積るとは其價格六・三十兩と見ると輸入總額の約六・三十兩と、此の内日本炭は約三萬餘兩、四六・十五萬餘兩にして之に我勢力範圍内にある撫順炭を加算すれば九十八萬餘兩、四百九十萬餘兩となり全輸入炭の約九分の七、上海輸入品の四十分一に近き數を得るなり、今一步を進めて日本炭の輸入日本品に對する位置を見れば同年度の日本輸入統計は三千二百六十餘萬兩あるが故に約七分の一とある勘定あり、炭を提げて限ある而も原料品たる炭を提げて此の數字を示せばとて敢て誇とする

に足らずとも雖も上海輸入本邦炭は輕々に附すべからざるものの一に屬す

輸入炭の趨勢
人文の開發に伴ひ交通機關の發達製造工業の隆盛に従て石炭需要の増加するは争ふべからざる事實にして上海輸入炭並に石炭需要の増進は人文發展を意味すと云ふも強辯にあらざる而して我上海輸入炭の趨勢は時に消長ありとも雖も千九百八年の八十五萬屯より逐次増進して千九百十三年の百四十萬餘屯に及び六ヶ年間

輸入炭の趨勢
人文の開發に伴ひ交通機關の發達製造工業の隆盛に従て石炭需要の増加するは争ふべからざる事實にして上海輸入炭並に石炭需要の増進は人文發展を意味すと云ふも強辯にあらざる而して我上海輸入炭の趨勢は時に消長ありとも雖も千九百八年の八十五萬屯より逐次増進して千九百十三年の百四十萬餘屯に及び六ヶ年間

輸入炭の趨勢
人文の開發に伴ひ交通機關の發達製造工業の隆盛に従て石炭需要の増加するは争ふべからざる事實にして上海輸入炭並に石炭需要の増進は人文發展を意味すと云ふも強辯にあらざる而して我上海輸入炭の趨勢は時に消長ありとも雖も千九百八年の八十五萬屯より逐次増進して千九百十三年の百四十萬餘屯に及び六ヶ年間

輸入炭の趨勢
人文の開發に伴ひ交通機關の發達製造工業の隆盛に従て石炭需要の増加するは争ふべからざる事實にして上海輸入炭並に石炭需要の増進は人文發展を意味すと云ふも強辯にあらざる而して我上海輸入炭の趨勢は時に消長ありとも雖も千九百八年の八十五萬屯より逐次増進して千九百十三年の百四十萬餘屯に及び六ヶ年間

輸入炭の趨勢
人文の開發に伴ひ交通機關の發達製造工業の隆盛に従て石炭需要の増加するは争ふべからざる事實にして上海輸入炭並に石炭需要の増進は人文發展を意味すと云ふも強辯にあらざる而して我上海輸入炭の趨勢は時に消長ありとも雖も千九百八年の八十五萬屯より逐次増進して千九百十三年の百四十萬餘屯に及び六ヶ年間

輸入炭の趨勢
人文の開發に伴ひ交通機關の發達製造工業の隆盛に従て石炭需要の増加するは争ふべからざる事實にして上海輸入炭並に石炭需要の増進は人文發展を意味すと云ふも強辯にあらざる而して我上海輸入炭の趨勢は時に消長ありとも雖も千九百八年の八十五萬屯より逐次増進して千九百十三年の百四十萬餘屯に及び六ヶ年間

輸入炭の趨勢
人文の開發に伴ひ交通機關の發達製造工業の隆盛に従て石炭需要の増加するは争ふべからざる事實にして上海輸入炭並に石炭需要の増進は人文發展を意味すと云ふも強辯にあらざる而して我上海輸入炭の趨勢は時に消長ありとも雖も千九百八年の八十五萬屯より逐次増進して千九百十三年の百四十萬餘屯に及び六ヶ年間

Table with 4 columns: Year, Total Quantity, Monthly Average, and Unit. Data for Japan and other regions.

Table with 4 columns: Year, Total Quantity, Monthly Average, and Unit. Data for Japan and other regions.

Table with 4 columns: Year, Total Quantity, Monthly Average, and Unit. Data for Japan and other regions.

Table with 4 columns: Year, Total Quantity, Monthly Average, and Unit. Data for Japan and other regions.

Table with 4 columns: Year, Total Quantity, Monthly Average, and Unit. Data for Japan and other regions.

Table with 4 columns: Year, Total Quantity, Monthly Average, and Unit. Data for Japan and other regions.

上海會審衙門 制度(上)

西田 一
上海會審衙門は上海の第一周紀念號發刊にちて春申社同人諸君の依頼に基き特に本題を掲げて解説を求めたものと云ふは事實に非ざるべし。上海會審衙門の組織は上海の租界に於ける裁判官と外國人より選出せる裁判官と上海各國領事館より派遣せる裁判官と共に會同審理する裁判官とを以て其の組織を成す。其の組織は上海の租界に於ける裁判官と外國人より選出せる裁判官と上海各國領事館より派遣せる裁判官と共に會同審理する裁判官とを以て其の組織を成す。

出づる雖も、然れども海を隔て、支那に對し地を異にして支那を観る者、常に其外觀美にうたれ其裝飾美、に感じ、支那の眞情と異あらざる觀察をあすは己むを得ざる所あり、れど支那に在りて時事の研究に勉め、各種の報道に力を致す者常に此の外觀内容の兩面を國民に知らしむるに努めざる能はず、海を隔て、支那に對する人をして其外觀美にうたるゝを勉むるべきは支那に在る者の一責務に非ざるべきか。

●厘金を廢するは支那の外觀美に従ふ美言あり、厘金廢止論は其由來久しく、其之を廢せば支那通商に利しく支那商業を振起せしむるに足とせしめるは深く支那の内容を研究するかく偶然にも唱道せられし者あり、厘金は惡税なり、然れども之に代ゆべしと云ふ山產銷場二税は惡税たらざるか、將た又輸出税は惡税たらざるか

●支那文明と政治との實質に從へば、通過税は徵稅の最良法あり、今の支那に増稅せんとせば唯通過税を新設し、民が服して納稅するも亦通過税あり、官が座して徵稅し得るも亦通過税あり、若し他の稅法を以てせば官は勞多くして費加はり民は納附を肯せずし、脱稅最も容易かり、國家の各般政務を悉く看却して而して稅法のものを整頓せんとは泰山を挾んで渤海を越ゆるの類なり、故に通過税は最も支那政狀に適合す、官は一地に安座して通過を待ち、民は已むを得ずして之を通過し已むを得ずして

大村欣一

●支那は外觀上の國なり 支那文明は惡税から然れども之に代ゆべしと云ふ出產銷場二税は惡税たるが如く、將た又輸出税は惡税たるが如く、斯く考ふれば鈔關も沿岸貿易税も惡税たる言を俟たず、最も公平に支那の現狀より云へば厘金廢止は輸出税廢止に若くあし。

●支那文明と政治との實質に從へば、通過税は徵税の最良法なり、今の支那に増税せんとせば唯通過税を新設の増徴すべき一法あるのみ、地租の増率や、所得税、營業法は其政治に適せず、印紙税、證婚税は其民性に合せず、官が座して徵税し得るも亦通過税なり、民が服して納税するも亦通過税なり、若し他の税法を以てせば官は勞多くして費加はり民は納附不肯せずして脱税最も容易なり、國家の各般政務を悉く看却して而して税法のみを整頓せんとは泰山を挾んで渤海を越ゆるの類なり、故に通過税は最も支那政狀に適合す、官は一地に安座して通過を待ち、民は已むを得ずして之を通過し已むを得ずして

●支那は外觀上の國なり 支那文明は惡税から然れども之に代ゆべしと云ふ出產銷場二税は惡税たるが如く、將た又輸出税は惡税たるが如く、斯く考ふれば鈔關も沿岸貿易税も惡税たる言を俟たず、最も公平に支那の現狀より云へば厘金廢止は輸出税廢止に若くあし。

●支那文明と政治との實質に從へば、通過税は徵税の最良法なり、今の支那に増税せんとせば唯通過税を新設の増徴すべき一法あるのみ、地租の増率や、所得税、營業法は其政治に適せず、印紙税、證婚税は其民性に合せず、官が座して徵税し得るも亦通過税なり、民が服して納税するも亦通過税なり、若し他の税法を以てせば官は勞多くして費加はり民は納附不肯せずして脱税最も容易なり、國家の各般政務を悉く看却して而して税法のみを整頓せんとは泰山を挾んで渤海を越ゆるの類なり、故に通過税は最も支那政狀に適合す、官は一地に安座して通過を待ち、民は已むを得ずして之を通過し已むを得ずして

納税す、戸籍調査の必要なく營業調査の煩なく、納附督促の勞もあし、而して通過税を厘金或は統捐に於て行ふが如く認捐せし更に官に利にして民に便あり。

●厘金に代ゆへき出產銷場二税も亦是れ通過税からざる能はず、同じく通過税たれば厘金と其名を異にするのみ、而して厘金は重税たりしとし出產銷場税を輕率たらしむるを得べきか、從來厘金の徵收額は全國に於て幾何ありしや、其精確ある數字は支那の何れの官府と雖も之を擧ぐる能はず、今輸入税の増率は歳入を増すべしとせば出產銷場税は之に輕減すべしとせば支那政治の實質よりして行はれ得べき者と斷すべからず、支那財政は之を行ひ得べき如き内容美を有する者に非ず、要は厘金廢止の外觀的美名は取て之を顧るの必要なく又輸入税の増率は厘金と交換の意義を離れて之を行ふべき者あり、支那の現狀より推定せば輸入税は増率すべし、列國も公平ある見地よりせば幾分之に増すべきこと當然あり、保護貿易主義の最も流行する現在に於て保護と名のつくまてに至らざる支那輸入税の増率は仁心よりしても否定し難かるべし。

●幣制統一問題も亦是れ支那外觀美あり、支那の内容が之に伴はゞ人類の幸なり、然れども國家統一を行ふの政治實質を有せざる此國に幣制の統一を勧めしも徒に外觀美に眩するの不明を蔽ふ能はざるが如し、列國は果して今の如き各種の貨幣を此國に輸入するを廢し而して支那造幣の全權を支那に託し支那に依頼するの勇氣ありや否や、列國は一面に於て支那幣制を攪亂し一面に於て支那政府に統一せしめんとする矛盾を有するかき明かり、然れども其金融界に支

那政府の鑄造する同一形式の本位貨が行はるゝのみにて之を謳歌し之に依頼するの雅量あるや否や、よし雅量ありとすとも金融界の圓滑を缺かば之を奈何とかる。

●幣制統一とは貨幣の少き此國に更に如何なる貨幣ありとも幾分増加せしむるの義あらば可あり、然れども眞に全國幣制を統一せんとする意あらば豈支那内容と相離る甚しき外觀論に非ざるか、但し幣制統一は支那政府の唱道する所、列國は之に對し其資金を給與すれば足り、事の成否を別問題とし、又支那は其資金を如何に使用すとも可あり、たゞ借款の名義が此に在りとせば事凡て已むべし、支那に關する問題は愈出て、愈極からんとす、此時に當り千百問題の解決は先づ支那内容の解決と相伴ふを要す、而して支那を滅ぼすの外安は比較的容易あり、然れども、若し支那に保全の眞義あらば支那に存在の必要あらば、支那を興すの外交を最も重大とす、支那を興すの外交は難中の難あり、されど難中の難たる間には無限の趣味もあらん、眞に支那を興すの外交は如何なる問題によりて生じ、如何なる政策により始まるべきか。

●支那の砂糖消費高

厚木甲次

著作権保護コンテンツ

祝一週年

營業種目

輸入 絹綿 麻布 雜貨
輸出 支那玉蘭 屑物 麻
牛皮 豚毛



書上洋行

英租界河南路C一五六

電話三三九四

本店 群馬縣山田郡桐生町

支店 横浜

出張所 館林 足利 佐野

祝一週年

上海香港路五號

福岡法律事務所

電話二一五〇

日支企業の急務を論じ兩國人士の覺醒を促す

川本靜夫

●民國の實業方針

吾人は日支兩國提携し企業を興すは實に現下焦眉の急務たることを深く信ずるを以て之に關する吾人の希望を茲に吐露せんと欲す。嘗て利權回收熱と排外熱の流行に呢はれたる支那上下も時勢の變遷に伴れ漸く其非理無益なる事を自覺し來りしが殊に辛亥革命以後の民國財政は窮乏其極に達し國民經濟愈々危殆の狀態に陥りたれば茲に急轉直下して外資を歡迎し共同經營を希望し以て新利源を開發し新事業を計劃するの機運を促がすの傾向を生じ而かも民國の當局者が進んで其方針を宣明するに至りしは實に君子豹變の頭を呈するに客あらざるあり即ち熊内閣の實業方針の大略に曰く

▲企業界の趨勢

凡そ企業界の趨勢は大力の運用に待つにあらざれば何事も成す能はざることなり此傾向は日に増し擴大することとなり即ち政治上の問題は人為的調節或は容易ならざるも經濟界の事に至りては所謂世界に國境なく資本の流動は水の低きに就くが如き狀態なれば此趨勢より地方自借款認許と相待つて豊富の資本は浸々として流入し來るべく鐵道(此借款既定の分已に三億七千萬兩に及ぶ)礦山は着々として布設開採さるべく勢力利源の實權は歐米資本家の手に歸するに至るや蓋し疑ひあるべし既に資本流動の大勢に抗し難きをを知る吾人に之を拱手傍觀し去るとせば即ち止む可くも東亞の大局の如何なるものなるかを察し西力東漸の愈切迫し來るに想到せば誰れか目支兩國人士が一切の猜疑

▲兩國の特種關係

吾人は固より歐米資本力の恐るべきを知るも日支兩國人士が實現に提携の要あるを自覺し之に於て眞に見るに至らば此恐さて何ぞ憂ふべき點なきを思ふものにして却つて其豐富なる歐米の實力を利用し得るの計を預めするに至るべきなり何となれば實力勢力の動かすべからざるは世界の趨勢なり我々日支兩國人は歐米に到底企及し能はざるの特種關係を盾とし之により西方に當り東亞の維持擁護に於て其通の責任を完すべき天職を忘れざることを肝要なり既に天職を有する以上之に基き提携以て進行せば從來有勝る兩國間の猜疑嫉視は自から氷釋すべし而して日本上下は絶えず善隣の誼を忘れず民國の興起を促がし兩國の特種關係に鑑み民衆低き支那人に對し一口の長を以て常に文明的技能の供給に於て日本人は歐米人比し比較的安値なるの便あるを知らしむること又肝要なり

▲企業の徑路

然れども吾人は日支提携の方法如何を云ふ前に前述の如く企業界の大勢は大力の運用に俟つ趨勢なるに鑑み支那の如き文明程度低く經濟狀態混迷たる國柄に對し此實力の運用が如何に成行すべきかを究むる要あり如何し順序として歐米並に日本に就き所謂實業集團の徑路を辿り以て支那の現狀に比し對症投藥の一端を窺知すべし

實業集團の法は今日の會社組織によるの外なし而して經濟界の大勢は濟界に於ける之が發達の徑路を見るに十八世紀以前の「ギルド」時代より合名會社となり次で合資會社時代を経て漸く今日の株式會社時代となし最近五六十年来の事に屬する此間人智の開發文明の進歩と經濟界幾多の革命によりたるものにて一六〇二年東印度貿易會社の出現及び一六四四年英國銀行の設立は其内容實質に於て株式會社の要素を具備せし雖も何れも所謂特許主義にあらざれば免許主義の會社組織にして未だ今日の如き制度にあらざる準則主義或は公示主義を採用し廣く天下の同業界を振作せしむるに至りしは漸く一八六二年此の制度を採用したる以上後其の事に屬する資本集團の株式會社が其の大勢力を築くに至たりしは僅かに過去五六十間の間にありしはふべく歐洲の文明を以てして尚ほ且つ如斯きものなりしを知るべし

井上眞眞館

電話三三五〇

上海老滙路A二四二號

最新各種寫眞
丁寧迅速二取計申

祝視上海週報一週年

最新各種寫眞
丁寧迅速二取計申

虹口乍浦路三十七號

吉阪寫眞館

電話三二七一

業日商は淺く度文化の據るべきことを以て、和製鐵鋼の勢力を以て當る時代に於て是も重要視すべきものとなり而して此等機關の一度反對の態度に遇はんか如何なる事業も終に成立し得ざる實例少からざるを知るべし

▲提携の方法如何

吾人は歐洲を日本に於ける企業家と云ふと、和製鐵鋼の勢力を以て當る時代に於て是も重要視すべきものとなり而して此等機關の一度反對の態度に遇はんか如何なる事業も終に成立し得ざる實例少からざるを知るべし

握り大利源を押へずんば止まざるの概あり統し日支兩國の大共同大企業

重慶、廣東、廈門の七港に對し、直ちに開設の實行を命じ、其他の開港地に分會の設置を命じ、更に南洋は勿論英、荷、法、美、日、各國の領事館に對する欠陥を是れは進んで商務商會若しくは自衛會の如き機關に依頼し援助せしむるの方法を採り、更に領事館の保護的方法を案出し、日本人側の危険を喰ふて去するのべき方法を考ふべき而して之を準據する。此の方法の如きは日本法律で定めざる可なり、或は前清時代の南洋に訂定せる會社法を參照するも可なり。

何に進步遅緩なりとは云へ企業政策其宜きを傳は之を利導し得べからずとは云ふべからず況んや今日の民衆が明かに内に保護政策を取り外に開放政策を採るの方針を定めたに於てや吾人は黨同伐異徒らに政争に耽けり富強の源泉開發を顧みる所なくんば歐米の資力間に惹れて東亞の天也と受容するに忍び難く至る所也

御
上海文路
松

發達の徑路を叙し支那の現狀を述べたるが然らば支那は果して如何ある對症發藥法を以て兩者提携の實を擧げ得ざるものなりや頗る困難の點なき能はざるなり何となれば混沌たる支那に對し一足飛越の式企業法を以てし九沓的に強要するは到底圓滿なる成功を發見する能はざればな故に吾人は先達諸國の企業沿革に

のあはる否むべからざる事實なれば更らに進んで吾人は他の一策として商務總會並に自治公所の如き機關に眼を注ぎ之を利用し提携の實を擧ぐるの必要あるを知るなり外國人この交際殊に直接千係多き商務總會なるもの性質を紹介すべく左に前清商部の奏定に係る商務簡明章程中の要領を參考に資すべし

開港にも亦其分會の設置を酌定せしめたり斯くて開港場にあらざる内地の重要都市並に郷鎮城に自治公所なるもの設立を見るに到れり尤も此自治公所は前者の如く専ら商業上に立脚せず其目的は地方自治にありと雖も地方に於ける勢力を云ふ點より云へば兩者共に其授けなり故に吾人は内地に進入るに歐米人よりも遙かに踰する處雙方の便宜を旨とし國人士の衆資より成る株式會社を組織し日本は文明的技能を提供し以て要なる資力の集收に努力し而て支那人は東亞の大局より打算して自國の發展を圖る爲め其有する新利源新事業を自ら進んで之を提供すべし斯くの如くして兩國の提携企業は必す効果を呈すべし然りと雖も此に

● 所 感

河野久太郎

列國の承認により支那の革命も一段落を告げはより一時小康を保持するのであらうが、其間革命の元勳と

電話三三二九九

理料

家廼

められた外人の共同に委するの安全ある
施し、一面其探るべき方法を案出する
の穩當なるを深く信するを以て支那
には先遣國に於ける合資會社若しくは
は合資會社の徑路より着手するに至
る便ありと主張せざるべからず之に就
ては先づ嘗つて官職にありたる地方
紳士や地方傳来の郷紳等が近來死藏
せる富財を活用のが繁殖を計らるる
ため外人の共同に委するの安全ある

第一 本邦の主旨とする所は商業を保護商
情を開通するにあり唯、情を散れ各
省内内然無難に異にし情形を一概に
内地に於て商會を設立し大綱に掲げ
地に於て商會を設立し大綱に掲げ
内地に於て商會を設立し大綱に掲げ

第二 凡そ各省各商會に於て已に商會公
定し改め商會と稱して本商會所辦す可し省
立の保衛等は該地方總督又は巡撫の見
立に依るべし

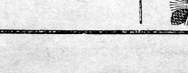
第六 會を標準とするに才、地、資、望の
四者を以て標準と定め記諸部に當るもの
を合格す

第七 凡そ商業を保護商情を開通するにあり

に便利なる日本人の特權を以て此の機關と聯絡を採り日本人は先聲の格を以て幼稚なる支那國民に對し文明的企業の方法注入と其普及に求め順次に一定の企業を目論み以て隠れたる支那人士の資財を有益に投せしむるの計を講じ行く／＼株式大資本の集策圖を施せば吾人の所謂歐米人の實力集團の侵略を防ぐは必ずしも難くないであらう

移轉廣告
 今般營業上左記ニ移轉仕り候間此段
 此告仕候也
 上海崑山路A二號
 光村洋服店
 も云べき孫黃を初め、幾多濟々の名
 士が不幸なる犠牲となつたのは、國
 難多事なる支那の爲め同情に堪へな

草
電 話 三 文



を冀ふの傾向を逃さざるの注意肝要なり而して彼等の多くは規模比較的大に大ならざる企業を欲し世論的基とならざる範圍に於て自ら進んで外人と共同を希望する輩あれば我より進んで之を利用し共に提携すること又肝要なり蓋し小規模の企業は當事者間の意思の疎通早や經營の方法も簡明なるべく歐米外人が面倒としてゐる事業、すなわち「洋行」等々、該總理協理、若し取組む類々の盛況な社會會議

第七款 商會の總理職務には商人を保護し義務を負担するの責任を任ず故に都知事伸訴するに與する事件或んば該該總理に訴へるに及ぶ可き事項の審問に於て自白の權利に及びない等の事あるを得ず本部に依頼

なきこと。三、地方官廳の職員たるもの、四、各名商會に於ける役員たるもの、五、各名商會に於ける役員たるもの、六、各名商會に於ける役員たるもの、七、各名商會に於ける役員たるもの、八、各名商會に於ける役員たるもの、九、各名商會に於ける役員たるもの、十、各名商會に於ける役員たるもの、十一、各名商會に於ける役員たるもの、十二、各名商會に於ける役員たるもの、十三、各名商會に於ける役員たるもの、十四、各名商會に於ける役員たるもの、十五、各名商會に於ける役員たるもの、十六、各名商會に於ける役員たるもの、十七、各名商會に於ける役員たるもの、十八、各名商會に於ける役員たるもの、十九、各名商會に於ける役員たるもの、二十、各名商會に於ける役員たるもの、二十一、各名商會に於ける役員たるもの、二十二、各名商會に於ける役員たるもの、二十三、各名商會に於ける役員たるもの、二十四、各名商會に於ける役員たるもの、二十五、各名商會に於ける役員たるもの、二十六、各名商會に於ける役員たるもの、二十七、各名商會に於ける役員たるもの、二十八、各名商會に於ける役員たるもの、二十九、各名商會に於ける役員たるもの、三十、各名商會に於ける役員たるもの、三十一、各名商會に於ける役員たるもの、三十二、各名商會に於ける役員たるもの、三十三、各名商會に於ける役員たるもの、三十四、各名商會に於ける役員たるもの、三十五、各名商會に於ける役員たるもの、三十六、各名商會に於ける役員たるもの、三十七、各名商會に於ける役員たるもの、三十八、各名商會に於ける役員たるもの、三十九、各名商會に於ける役員たるもの、四十、各名商會に於ける役員たるもの、四十一、各名商會に於ける役員たるもの、四十二、各名商會に於ける役員たるもの、四十三、各名商會に於ける役員たるもの、四十四、各名商會に於ける役員たるもの、四十五、各名商會に於ける役員たるもの、四十六、各名商會に於ける役員たるもの、四十七、各名商會に於ける役員たるもの、四十八、各名商會に於ける役員たるもの、四十九、各名商會に於ける役員たるもの、五十、各名商會に於ける役員たるもの、五十一、各名商會に於ける役員たるもの、五十二、各名商會に於ける役員たるもの、五十三、各名商會に於ける役員たるもの、五十四、各名商會に於ける役員たるもの、五十五、各名商會に於ける役員たるもの、五十六、各名商會に於ける役員たるもの、五十七、各名商會に於ける役員たるもの、五十八、各名商會に於ける役員たるもの、五十九、各名商會に於ける役員たるもの、六十、各名商會に於ける役員たるもの、六十一、各名商會に於ける役員たるもの、六十二、各名商會に於ける役員たるもの、六十三、各名商會に於ける役員たるもの、六十四、各名商會に於ける役員たるもの、六十五、各名商會に於ける役員たるもの、六十六、各名商會に於ける役員たるもの、六十七、各名商會に於ける役員たるもの、六十八、各名商會に於ける役員たるもの、六十九、各名商會に於ける役員たるもの、七十、各名商會に於ける役員たるもの、七十一、各名商會に於ける役員たるもの、七十二、各名商會に於ける役員たるもの、七十三、各名商會に於ける役員たるもの、七十四、各名商會に於ける役員たるもの、七十五、各名商會に於ける役員たるもの、七十六、各名商會に於ける役員たるもの、七十七、各名商會に於ける役員たるもの、七十八、各名商會に於ける役員たるもの、七十九、各名商會に於ける役員たるもの、八十、各名商會に於ける役員たるもの、八十一、各名商會に於ける役員たるもの、八十二、各名商會に於ける役員たるもの、八十三、各名商會に於ける役員たるもの、八十四、各名商會に於ける役員たるもの、八十五、各名商會に於ける役員たるもの、八十六、各名商會に於ける役員たるもの、八十七、各名商會に於ける役員たるもの、八十八、各名商會に於ける役員たるもの、八十九、各名商會に於ける役員たるもの、九十、各名商會に於ける役員たるもの、九十一、各名商會に於ける役員たるもの、九十二、各名商會に於ける役員たるもの、九十三、各名商會に於ける役員たるもの、九十四、各名商會に於ける役員たるもの、九十五、各名商會に於ける役員たるもの、九十六、各名商會に於ける役員たるもの、九十七、各名商會に於ける役員たるもの、九十八、各名商會に於ける役員たるもの、九十九、各名商會に於ける役員たるもの、一百、各名商會に於ける役員たるもの、

吾人は民國の實業方針より説き起し企業の趨勢に移り日支企業の提携の急務を論じ且つ支企業の徑路並に支那企業の現状を窺ひ又日支企業の提携方法をも講ずるに至りしが之を實現するに際し吾人は日本側に在りては亂りに自國法律的方法のみを強要し一步一步假借せざるが如き從來の故に吾人は先づ企業を前提として定目の論見の基に資本の吸收を策するの適切なるを感ぜざるを得ざるなる要するに支那は民間個人として隠れたる私財比較的豊富なるあり彼の利權回收熱旺盛なる當時の如き何れも爭ふて新式企業を計畫し現に光緒廿九年より同三十四年に亘り時の政令に準據する所なくして

い次第である。元來革命の事業は破壊事業だ。古今東西の歴史に於て必ず革命の犠牲者を出すもので、その成敗に論なく大教訓を残すのである。近く吾西郷、江藤、桐野、篠原、志等々の如き維新の元勳も一時賊名を蒙つたが、天下の同情は今に去らないのである。即ち朝鮮合邦は彼等の遺志を成就したものと思へば其感自か

裁服洋
服洋野

六

兩國大個資本家間に於ける云は、
「特長ある提携の企業と稱するを得
ければ也斯くの如くして日支の提
携成らば俗に所謂數を以てこなすの
學也」と。唯は直に之を實踐し難し
第十五款「凡華中親交の定むる商會に
赴き告知して該商會に定めし新集
地方の地理と該商會の通商に便する
に於て其地を管理するを准す」
第十六款「南洋中南亞細亞のあ
るべきに關連する各公家とのあ
る一人なる代理人たる人なるを該商會は

支那人側になつては務めて文明的企業法に根據するの態度を以て迎へ又たるに見れば（尤も歐米に比すれば）尙極めて新智識を有する留學生を善用僅少取るに足らずとするも）幼稚な支那の現状としては寧ろ企業心の

本とは趣を異にするが、支那革命に於ても歴史は其自身を繰返すとの常軌あるより云へば、時機の到来によりて又一轉する様なことがないとも

續
店

心的大市場としては、尙ほ數倍の膨服力を有するものと視るに至當と思ふのである、上海は即ち吾國に大阪、吳淞は即ち神戸と云ふ地位に立ち列國此地の對支事業の發源地であるから此地に在るものは此心で立て立ち人後に落ちざる策案を爲すと共に支那人との和親を求め連絡を取ることを忘れてはならぬ、彼を思ふ此れを思へば吾人支那に住する者の責任は愈重く且つ大となつたのであると思ふ春社同人諸君折角の依頼であつたから茲に所感を述べ併せて「上海」一週年の紀念を祝し今後の隆盛を祈る

▲支那は列強の回向院也▼

平岡紫軒



著作権保護コンテンツ

●日支兩國青年

の交際を望む

▲日本人俱樂部を利用せよ▼

副島 綱雄

「上海」の一週年號に何か書けとの相談を受けた、多忙でもあるし、又別に纏つた考もないので断はつたが聞かれない、實の處自分は昨年「上海」の發刊以來、之によつて支那に於ける各方面に關する細大の出來事に付て色々研究の資料も得たし、又智識も得つゝあるので、今度の様な相談を受けけると、是非何なりとも書かねばならぬ義務があるやうに

も思ふので、つまらぬ事かも知れんが、兼而自分の思ふて居る事的一端を書いて、諸賢の御一考を得たいと思ふ

上海在留の日本人の數は日露戰爭後急に増加し、又革命戰亂以來更に急激に増加して、最早一萬人にも近いやうな話だから、之れを十年程以前に比べると非常な發展と言つてもよかるふ、又日本人の生活狀態から見ても、萬事に非常に便利になつた事は、十年前とてまるで比較にならん位だが、同胞が殖へたのと、生活狀態が便利になつた、日本流の生活をするのに便利になつた爲だろふか、日本人と支那人との平素の交情が其の反比例に大ひに疎遠になりつゝあるやうに思ふ、只疎遠になると言ふ丈で少し意味が透徹しないかも知れんが、親戚支那人と交際して支那の事情を眞面目に研究すると言ふ事が次第に閑却されつゝあるやに思ふ、尤さも之れは見聞と交際の狭い自分の謬見かも知れんが、自分だけではうふ感じて居る、勿論一萬人からの在留者があるので、中にて随分親密な、うして有益な交際を支那の有爲な人とやつて居る人もあるにはちがいないが、全體の上から言ふと日本人の在留者の少なかつた、そふして生活向の自由であつた昔の方が支那人との交際も密接で且つ支那の事情を研究する人も熱心で、多數在留者の數は比較して多かつたやうに聞いて居る

支那に來た以上は支那人及支那を研究する事の必要なのは言ふ迄もない事で、其研究の深淺巧拙が、やがて事業の成否及國力發展の上にも重大な結果を來たす事も見易い話したが支那及支那人を研究するには色々な

祝一週年

東洋海上保險株式會社

千代田生命保險相互會社

九江路十七、十八號

上海代理店 **大倉洋行**

電話 三三〇八八
一八〇
四六六

方、法、も、う、が、先、支、那人と眞面
目な交際をする事が最も必要で、便
利な方法でないかと思ふ、殊に其の
交際は獨り研究に便利なるのみでな
く、之れを善用すれば國力發展の上
にも多大の効果があらうと思ふ
ので、何んぞか有益な日支兩國人の
交際機關の設備が出来たら好いか
と思ふのである

上海大連貿易

上海大連間の貿易は明治三十
四年より大正二年に至る三年を通じ
毎年一千六百萬圓台なり
一九一一年 一九一二年 一九一三年
1,600,000 1,700,000 1,800,000
1,900,000 2,000,000 2,100,000
2,200,000 2,300,000 2,400,000
2,500,000 2,600,000 2,700,000
2,800,000 2,900,000 3,000,000
3,100,000 3,200,000 3,300,000
3,400,000 3,500,000 3,600,000
3,700,000 3,800,000 3,900,000
4,000,000 4,100,000 4,200,000
4,300,000 4,400,000 4,500,000
4,600,000 4,700,000 4,800,000
4,900,000 5,000,000 5,100,000
5,200,000 5,300,000 5,400,000
5,500,000 5,600,000 5,700,000
5,800,000 5,900,000 6,000,000
6,100,000 6,200,000 6,300,000
6,400,000 6,500,000 6,600,000
6,700,000 6,800,000 6,900,000
7,000,000 7,100,000 7,200,000
7,300,000 7,400,000 7,500,000
7,600,000 7,700,000 7,800,000
7,900,000 8,000,000 8,100,000
8,200,000 8,300,000 8,400,000
8,500,000 8,600,000 8,700,000
8,800,000 8,900,000 9,000,000
9,100,000 9,200,000 9,300,000
9,400,000 9,500,000 9,600,000
9,700,000 9,800,000 9,900,000
10,000,000 10,100,000 10,200,000
10,300,000 10,400,000 10,500,000
10,600,000 10,700,000 10,800,000
10,900,000 11,000,000 11,100,000
11,200,000 11,300,000 11,400,000
11,500,000 11,600,000 11,700,000
11,800,000 11,900,000 12,000,000
12,100,000 12,200,000 12,300,000
12,400,000 12,500,000 12,600,000
12,700,000 12,800,000 12,900,000
13,000,000 13,100,000 13,200,000
13,300,000 13,400,000 13,500,000
13,600,000 13,700,000 13,800,000
13,900,000 14,000,000 14,100,000
14,200,000 14,300,000 14,400,000
14,500,000 14,600,000 14,700,000
14,800,000 14,900,000 15,000,000
15,100,000 15,200,000 15,300,000
15,400,000 15,500,000 15,600,000
15,700,000 15,800,000 15,900,000
16,000,000 16,100,000 16,200,000
16,300,000 16,400,000 16,500,000
16,600,000 16,700,000 16,800,000
16,900,000 17,000,000 17,100,000
17,200,000 17,300,000 17,400,000
17,500,000 17,600,000 17,700,000
17,800,000 17,900,000 18,000,000
18,100,000 18,200,000 18,300,000
18,400,000 18,500,000 18,600,000
18,700,000 18,800,000 18,900,000
19,000,000 19,100,000 19,200,000
19,300,000 19,400,000 19,500,000
19,600,000 19,700,000 19,800,000
19,900,000 20,000,000 20,100,000
20,200,000 20,300,000 20,400,000
20,500,000 20,600,000 20,700,000
20,800,000 20,900,000 21,000,000
21,100,000 21,200,000 21,300,000
21,400,000 21,500,000 21,600,000
21,700,000 21,800,000 21,900,000
22,000,000 22,100,000 22,200,000
22,300,000 22,400,000 22,500,000
22,600,000 22,700,000 22,800,000
22,900,000 23,000,000 23,100,000
23,200,000 23,300,000 23,400,000
23,500,000 23,600,000 23,700,000
23,800,000 23,900,000 24,000,000
24,100,000 24,200,000 24,300,000
24,400,000 24,500,000 24,600,000
24,700,000 24,800,000 24,900,000
25,000,000 25,100,000 25,200,000
25,300,000 25,400,000 25,500,000
25,600,000 25,700,000 25,800,000
25,900,000 26,000,000 26,100,000
26,200,000 26,300,000 26,400,000
26,500,000 26,600,000 26,700,000
26,800,000 26,900,000 27,000,000
27,100,000 27,200,000 27,300,000
27,400,000 27,500,000 27,600,000
27,700,000 27,800,000 27,900,000
28,000,000 28,100,000 28,200,000
28,300,000 28,400,000 28,500,000
28,600,000 28,700,000 28,800,000
28,900,000 29,000,000 29,100,000
29,200,000 29,300,000 29,400,000
29,500,000 29,600,000 29,700,000
29,800,000 29,900,000 30,000,000
30,100,000 30,200,000 30,300,000
30,400,000 30,500,000 30,600,000
30,700,000 30,800,000 30,900,000
31,000,000 31,100,000 31,200,000
31,300,000 31,400,000 31,500,000
31,600,000 31,700,000 31,800,000
31,900,000 32,000,000 32,100,000
32,200,000 32,300,000 32,400,000
32,500,000 32,600,000 32,700,000
32,800,000 32,900,000 33,000,000
33,100,000 33,200,000 33,300,000
33,400,000 33,500,000 33,600,000
33,700,000 33,800,000 33,900,000
34,000,000 34,100,000 34,200,000
34,300,000 34,400,000 34,500,000
34,600,000 34,700,000 34,800,000
34,900,000 35,000,000 35,100,000
35,200,000 35,300,000 35,400,000
35,500,000 35,600,000 35,700,000
35,800,000 35,900,000 36,000,000
36,100,000 36,200,000 36,300,000
36,400,000 36,500,000 36,600,000
36,700,000 36,800,000 36,900,000
37,000,000 37,100,000 37,200,000
37,300,000 37,400,000 37,500,000
37,600,000 37,700,000 37,800,000
37,900,000 38,000,000 38,100,000
38,200,000 38,300,000 38,400,000
38,500,000 38,600,000 38,700,000
38,800,000 38,900,000 39,000,000
39,100,000 39,200,000 39,300,000
39,400,000 39,500,000 39,600,000
39,700,000 39,800,000 39,900,000
40,000,000 40,100,000 40,200,000
40,300,000 40,400,000 40,500,000
40,600,000 40,700,000 40,800,000
40,900,000 41,000,000 41,100,000
41,200,000 41,300,000 41,400,000
41,500,000 41,600,000 41,700,000
41,800,000 41,900,000 42,000,000
42,100,000 42,200,000 42,300,000
42,400,000 42,500,000 42,600,000
42,700,000 42,800,000 42,900,000
43,000,000 43,100,000 43,200,000
43,300,000 43,400,000 43,500,000
43,600,000 43,700,000 43,800,000
43,900,000 44,000,000 44,100,000
44,200,000 44,300,000 44,400,000
44,500,000 44,600,000 44,700,000
44,800,000 44,900,000 45,000,000
45,100,000 45,200,000 45,300,000
45,400,000 45,500,000 45,600,000
45,700,000 45,800,000 45,900,000
46,000,000 46,100,000 46,200,000
46,300,000 46,400,000 46,500,000
46,600,000 46,700,000 46,800,000
46,900,000 47,000,000 47,100,000
47,200,000 47,300,000 47,400,000
47,500,000 47,600,000 47,700,000
47,800,000 47,900,000 48,000,000
48,100,000 48,200,000 48,300,000
48,400,000 48,500,000 48,600,000
48,700,000 48,800,000 48,900,000
49,000,000 49,100,000 49,200,000
49,300,000 49,400,000 49,500,000
49,600,000 49,700,000 49,800,000
49,900,000 50,000,000 50,100,000
50,200,000 50,300,000 50,400,000
50,500,000 50,600,000 50,700,000
50,800,000 50,900,000 51,000,000
51,100,000 51,200,000 51,300,000
51,400,000 51,500,000 51,600,000
51,700,000 51,800,000 51,900,000
52,000,000 52,100,000 52,200,000
52,300,000 52,400,000 52,500,000
52,600,000 52,700,000 52,800,000
52,900,000 53,000,000 53,100,000
53,200,000 53,300,000 53,400,000
53,500,000 53,600,000 53,700,000
53,800,000 53,900,000 54,000,000
54,100,000 54,200,000 54,300,000
54,400,000 54,500,000 54,600,000
54,700,000 54,800,000 54,900,000
55,000,000 55,100,000 55,200,000
55,300,000 55,400,000 55,500,000
55,600,000 55,700,000 55,800,000
55,900,000 56,000,000 56,100,000
56,200,000 56,300,000 56,400,000
56,500,000 56,600,000 56,700,000
56,800,000 56,900,000 57,000,000
57,100,000 57,200,000 57,300,000
57,400,000 57,500,000 57,600,000
57,700,000 57,800,000 57,900,000
58,000,000 58,100,000 58,200,000
58,300,000 58,400,000 58,500,000
58,600,000 58,700,000 58,800,000
58,900,000 59,000,000 59,100,000
59,200,000 59,300,000 59,400,000
59,500,000 59,600,000 59,700,000
59,800,000 59,900,000 60,000,000
60,100,000 60,200,000 60,300,000
60,400,000 60,500,000 60,600,000
60,700,000 60,800,000 60,900,000
61,000,000 61,100,000 61,200,000
61,300,000 61,400,000 61,500,000
61,600,000 61,700,000 61,800,000
61,900,000 62,000,000 62,100,000
62,200,000 62,300,000 62,400,000
62,500,000 62,600,000 62,700,000
62,800,000 62,900,000 63,000,000
63,100,000 63,200,000 63,300,000
63,400,000 63,500,000 63,600,000
63,700,000 63,800,000 63,900,000
64,000,000 64,100,000 64,200,000
64,300,000 64,400,000 64,500,000
64,600,000 64,700,000 64,800,000
64,900,000 65,000,000 65,100,000
65,200,000 65,300,000 65,400,000
65,500,000 65,600,000 65,700,000
65,800,000 65,900,000 66,000,000
66,100,000 66,200,000 66,300,000
66,400,000 66,500,000 66,600,000
66,700,000 66,800,000 66,900,000
67,000,000 67,100,000 67,200,000
67,300,000 67,400,000 67,500,000
67,600,000 67,700,000 67,800,000
67,900,000 68,000,000 68,100,000
68,200,000 68,300,000 68,400,000
68,500,000 68,600,000 68,700,000
68,800,000 68,900,000 69,000,000
69,100,000 69,200,000 69,300,000
69,400,000 69,500,000 69,600,000
69,700,000 69,800,000 69,900,000
70,000,000 70,100,000 70,200,000
70,300,000 70,400,000 70,500,000
70,600,000 70,700,000 70,800,000
70,900,000 71,000,000 71,100,000
71,200,000 71,300,000 71,400,000
71,500,000 71,600,000 71,700,000
71,800,000 71,900,000 72,000,000
72,100,000 72,200,000 72,300,000
72,400,000 72,500,000 72,600,000
72,700,000 72,800,000 72,900,000
73,000,000 73,100,000 73,200,000
73,300,000 73,400,000 73,500,000
73,600,000 73,700,000 73,800,000
73,900,000 74,000,000 74,100,000
74,200,000 74,300,000 74,400,000
74,500,000 74,600,000 74,700,000
74,800,000 74,900,000 75,000,000
75,100,000 75,200,000 75,300,000
75,400,000 75,500,000 75,600,000
75,700,000 75,800,000 75,900,000
76,000,000 76,100,000 76,200,000
76,300,000 76,400,000 76,500,000
76,600,000 76,700,000 76,800,000
76,900,000 77,000,000 77,100,000
77,200,000 77,300,000 77,400,000
77,500,000 77,600,000 77,700,000
77,800,000 77,900,000 78,000,000
78,100,000 78,200,000 78,300,000
78,400,000 78,500,000 78,600,000
78,700,000 78,800,000 78,900,000
79,000,000 79,100,000 79,200,000
79,300,000 79,400,000 79,500,000
79,600,000 79,700,000 79,800,000
79,900,000 80,000,000 80,100,000
80,200,000 80,300,000 80,400,000
80,500,000 80,600,000 80,700,000
80,800,000 80,900,000 81,000,000
81,100,000 81,200,000 81,300,000
81,400,000 81,500,000 81,600,000
81,700,000 81,800,000 81,900,000
82,000,000 82,100,000 82,200,000
82,300,000 82,400,000 82,500,000
82,600,000 82,700,000 82,800,000
82,900,000 83,000,000 83,100,000
83,200,000 83,300,000 83,400,000
83,500,000 83,600,000 83,700,000
83,800,000 83,900,000 84,000,000
84,100,000 84,200,000 84,300,000
84,400,000 84,500,000 84,600,000
84,700,000 84,800,000 84,900,000
85,000,000 85,100,000 85,200,000
85,300,000 85,400,000 85,500,000
85,600,000 85,700,000 85,800,000
85,900,000 86,000,000 86,100,000
86,200,000 86,300,000 86,400,000
86,500,000 86,600,000 86,700,000
86,800,000 86,900,000 87,000,000
87,100,000 87,200,000 87,300,000
87,400,000 87,500,000 87,600,000
87,700,000 87,800,000 87,900,000
88,000,000 88,100,000 88,200,000
88,300,000 88,400,000 88,500,000
88,600,000 88,700,000 88,800,000
88,900,000 89,000,000 89,100,000
89,200,000 89,300,000 89,400,000
89,500,000 89,600,000 89,700,000
89,800,000 89,900,000 90,000,000
90,100,000 90,200,000 90,300,000
90,400,000 90,500,000 90,600,000
90,700,000 90,800,000 90,900,000
91,000,000 91,100,000 91,200,000
91,300,000 91,400,000 91,500,000
91,600,000 91,700,000 91,800,000
91,900,000 92,000,000 92,100,000
92,200,000 92,300,000 92,400,000
92,500,000 92,600,000 92,700,000
92,800,000 92,900,000 93,000,000
93,100,000 93,200,000 93,300,000
93,400,000 93,500,000 93,600,000
93,700,000 93,800,000 93,900,000
94,000,000 94,100,000 94,200,000
94,300,000 94,400,000 94,500,000
94,600,000 94,700,000 94,800,000
94,900,000 95,000,000 95,100,000
95,200,000 95,300,000 95,400,000
95,500,000 95,600,000 95,700,000
95,800,000 95,900,000 96,000,000
96,100,000 96,200,000 96,300,000
96,400,000 96,500,000 96,600,000
96,700,000 96,800,000 96,900,000
97,000,000 97,100,000 97,200,000
97,300,000 97,400,000 97,500,000
97,600,000 97,700,000 97,800,000
97,900,000 98,000,000 98,100,000
98,200,000 98,300,000 98,400,000
98,500,000 98,600,000 98,700,000
98,800,000 98,900,000 99,000,000
99,100,000 99,200,000 99,300,000
99,400,000 99,500,000 99,600,000
99,700,000 99,800,000 99,900,000
100,000,000 100,100,000 100,200,000
100,300,000 100,400,000 100,500,000
100,600,000 100,700,000 100,800,000
100,900,000 101,000,000 101,100,000
101,200,000 101,300,000 101,400,000
101,500,000 101,600,000 101,700,000
101,800,000 101,900,000 102,000,000
102,100,000 102,200,000 102,300,000
102,400,000 102,500,000 102,600,000
102,700,000 102,800,000 102,900,000
103,000,000 103,100,000 103,200,000
103,300,000 103,400,000 103,500,000
103,600,000 103,700,000 103,800,000
103,900,000 104,000,000 104,100,000
104,200,000 104,300,000 104,400,000
104,500,000 104,600,000 104,700,000
104,800,000 104,900,000 105,000,000
105,100,000 105,200,000 105,300,000
105,400,000 105,500,000 105,600,000
105,700,000 105,800,000 105,900,000
106,000,000 106,100,000 106,200,000
106,300,000 106,400,000 106,500,000
106,600,000 106,700,000 106,800,000
106,900,000 107,000,000 107,100,000
107,200,000 107,300,000 107,400,000
107,500,000 107,60